

しょうべいほりがわ

庄兵衛堀川・整備計画概要

流域面積 11.01 km²
 流路延長 5.883 km
 合流河川 隼人堀川
 現況河床勾配 1/5,000
 関係市町村 菖蒲町、久喜市、白岡町

流域および河川の概要

- ・庄兵衛堀川は、埼玉県菖蒲町にその源を発し、隼人堀川の8.1km 付近の左岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、農業地域として発達した地域であったが、立地条件の良さから昭和35年頃より都市化へと移行し、道路の整備等と合わせて流域の宅地化が急激に進んでおり、かつての田園地帯から都市地域と変貌しつつあり、中小の出水でも湛水被害が発生している。

治水計画

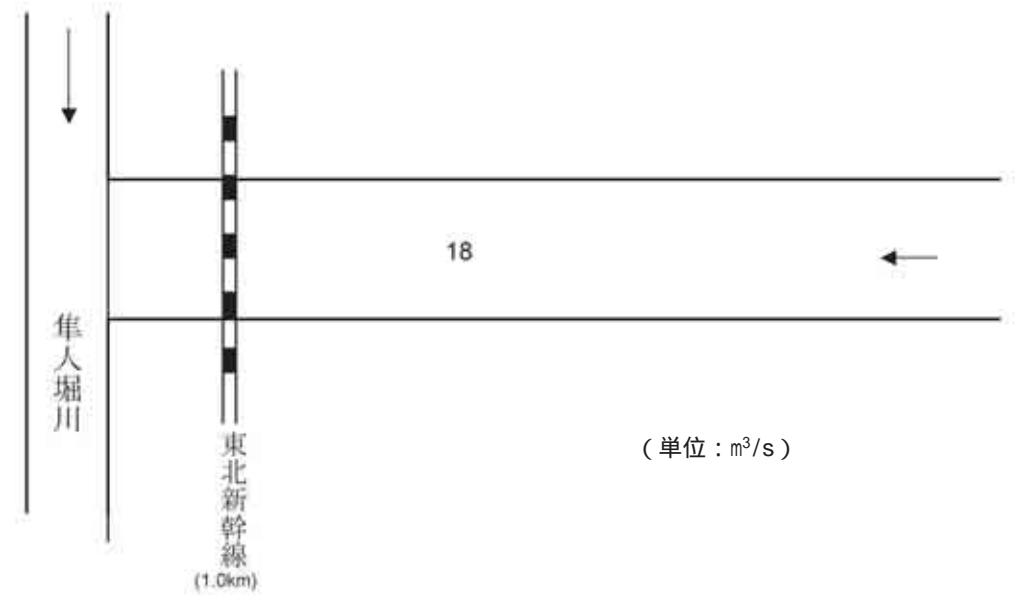
- ・庄兵衛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (隼人堀川合流点0.00 km) ~ (上流端5.88 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

流量配分図



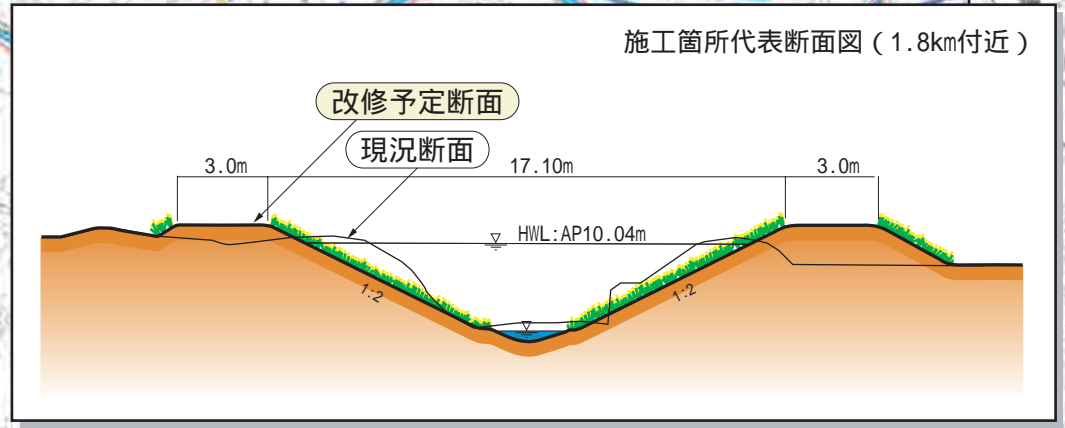
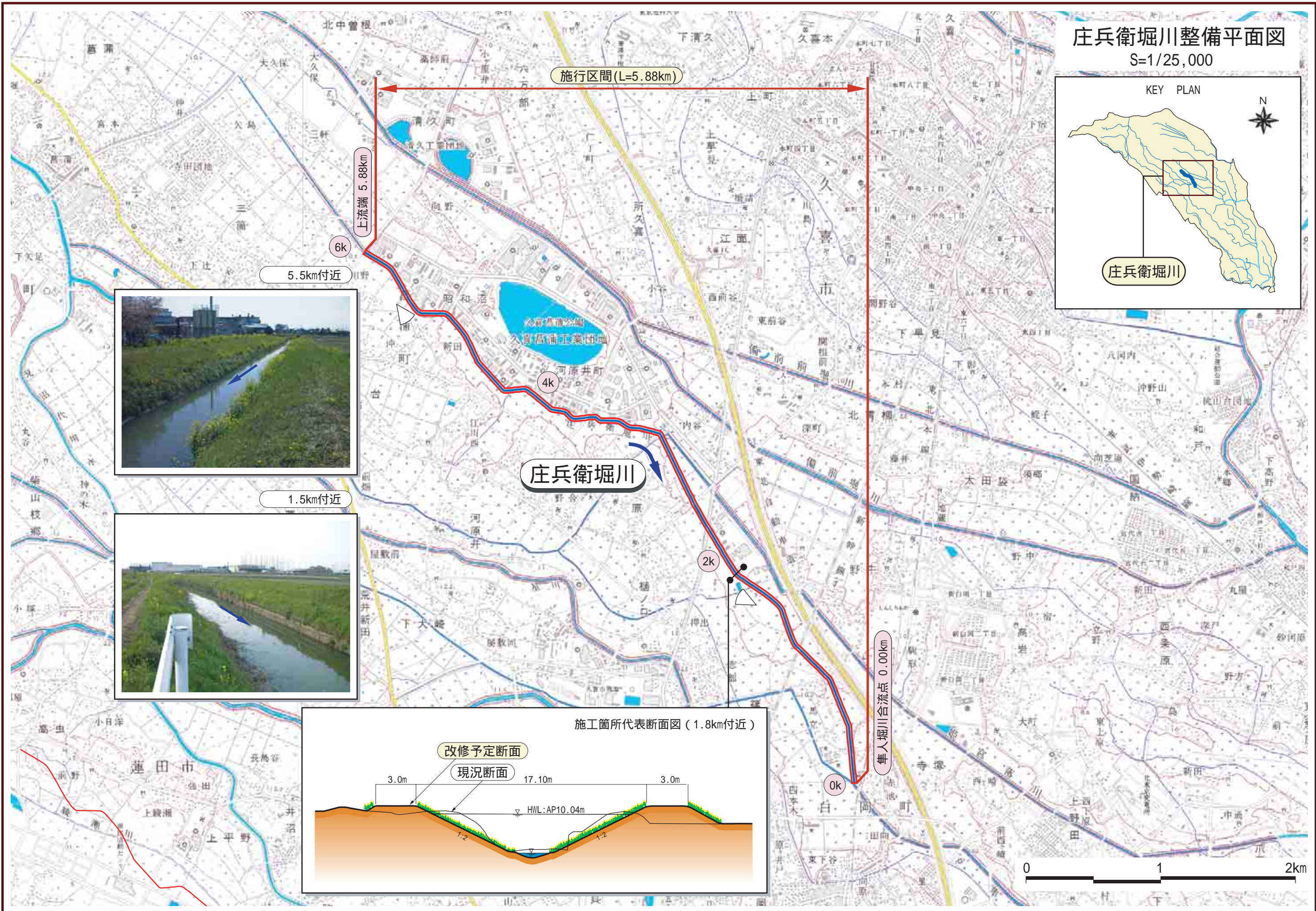
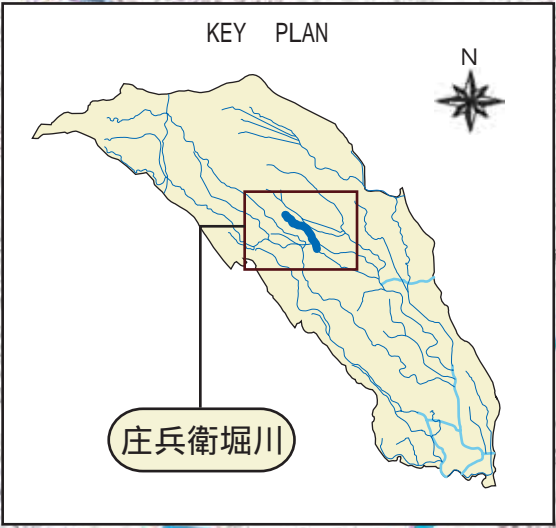
庄兵衛堀川1km 付近



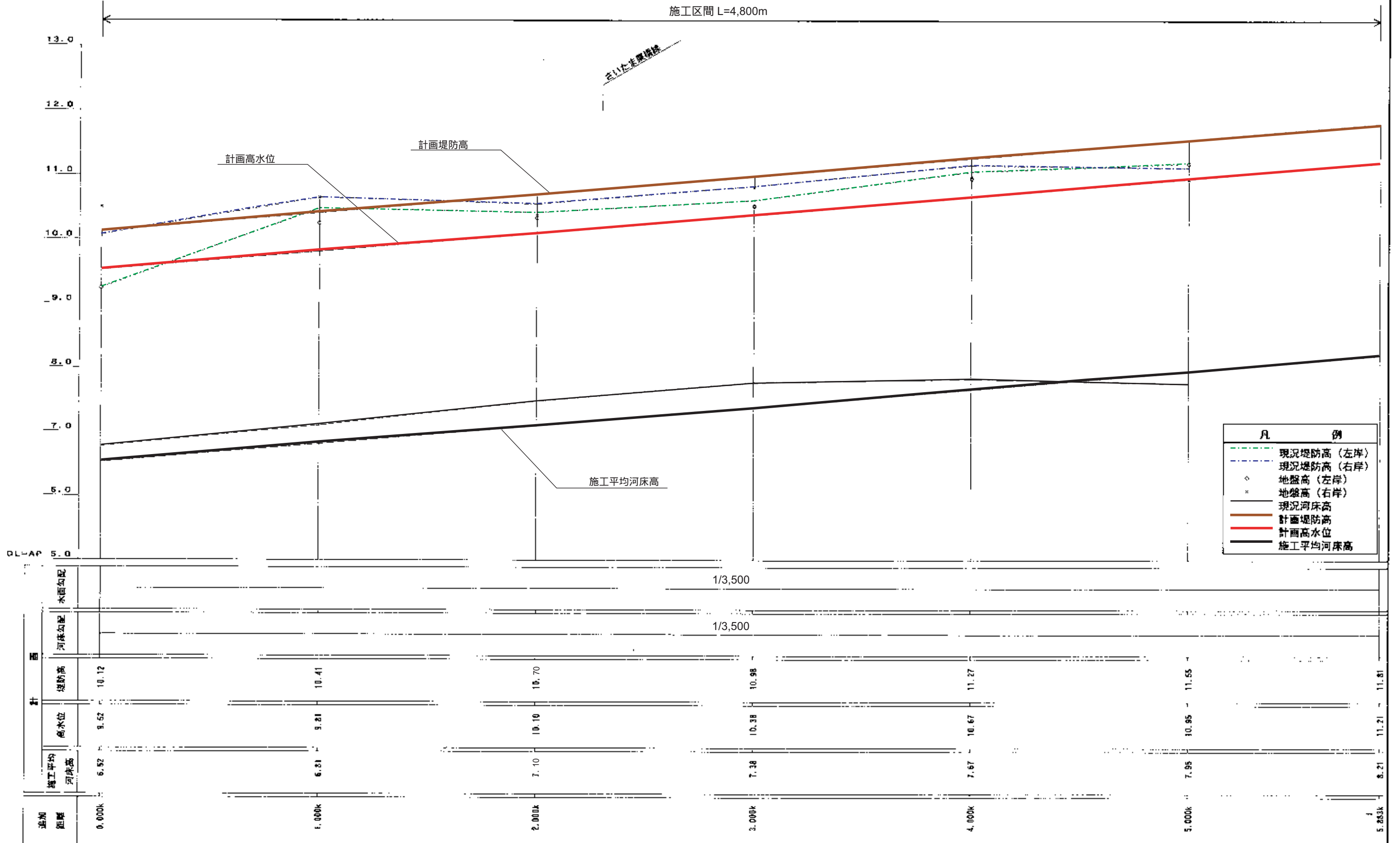
庄兵衛堀川3km 付近



庄兵衛堀川整備平面図
S=1/25,000



庄兵衛堀川計画縦断面図



ひめみやおとしがわ

流域面積 12.90 km²
 流路延長 10.690 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/3,000 ~ 1/4,000
 関係市町村 久喜市、宮代町、白岡町

流域および河川の概要

- ・姫宮落川は、埼玉県久喜市にその源を發し、大落古利根川17.4 km 付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、昭和30年当時では農地の割合が流域内の約80% を占める農業地域であったが、現在においては、流域の北東部を東武伊勢崎線、西部にJR 東北線が走り、都心から40 km 圏にあるため、ベッドタウンとしての住宅地の開発、また、大学の設置等により市街化の著しい地域となっている。

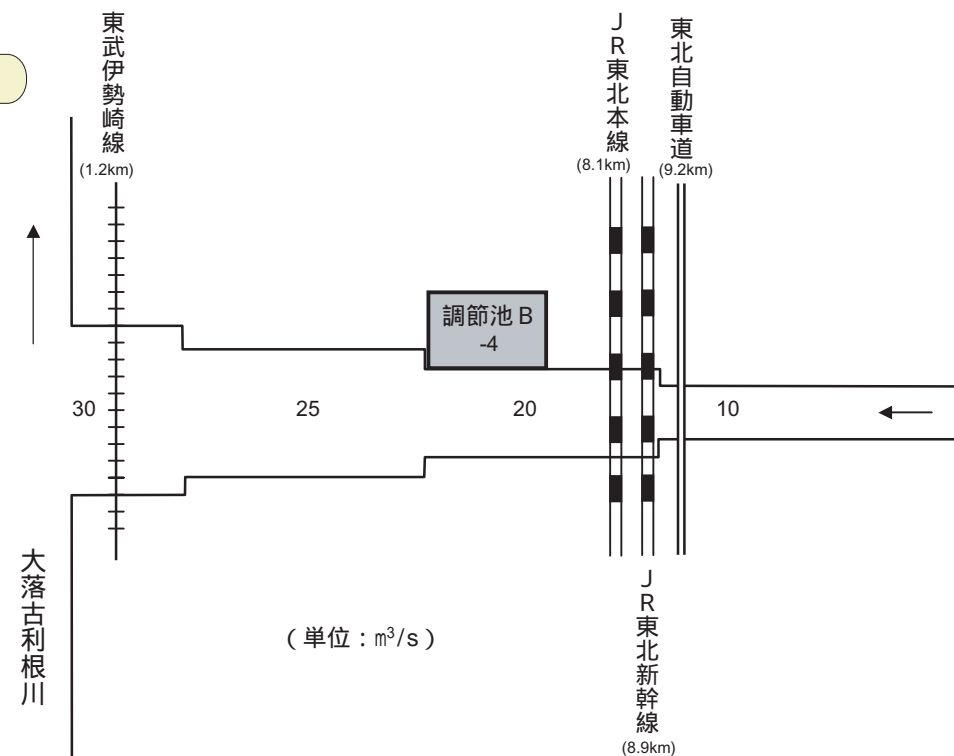
治水計画

- ・姫宮落川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 < 整備予定区間 > (柚ノ木橋下流0.60 km) ~ (上流端10.69 km) A
- ・また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 < 整備予定施設 > (調節池) B

整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。
- ・姫宮落川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているノウルシ、コウホネ、ナガボノシロワレモコウの生育がみられる地域や、カワセミの生息地及び繁殖地となっている地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



姫宮落川・整備計画概要



姫宮落川3km 付近

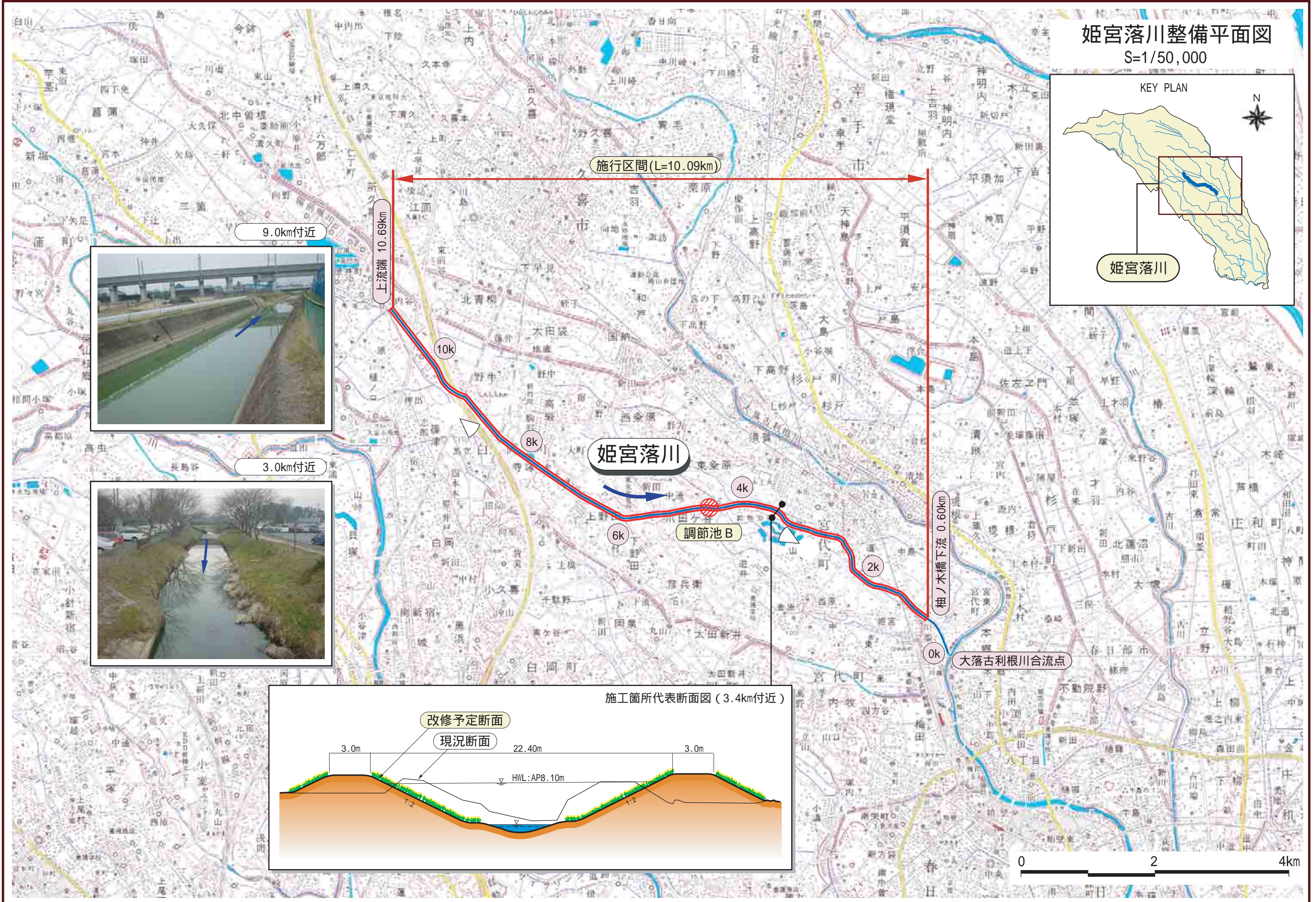
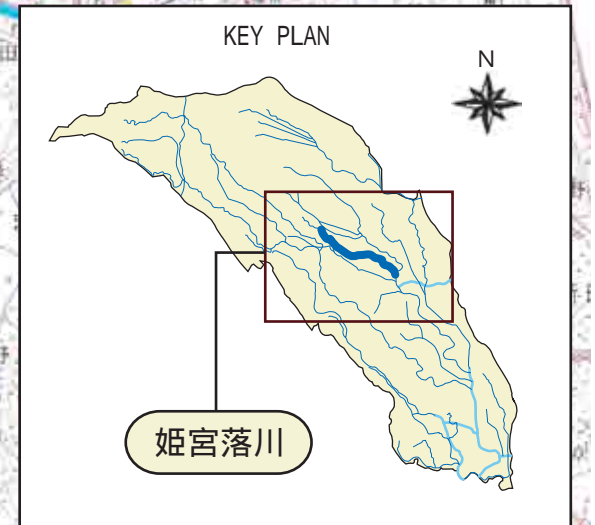


姫宮落川8km 付近



姫宮落川整備平面図

S=1/50,000



施行区間(L=10.09km)

9.0km付近

上流



3.0km付近



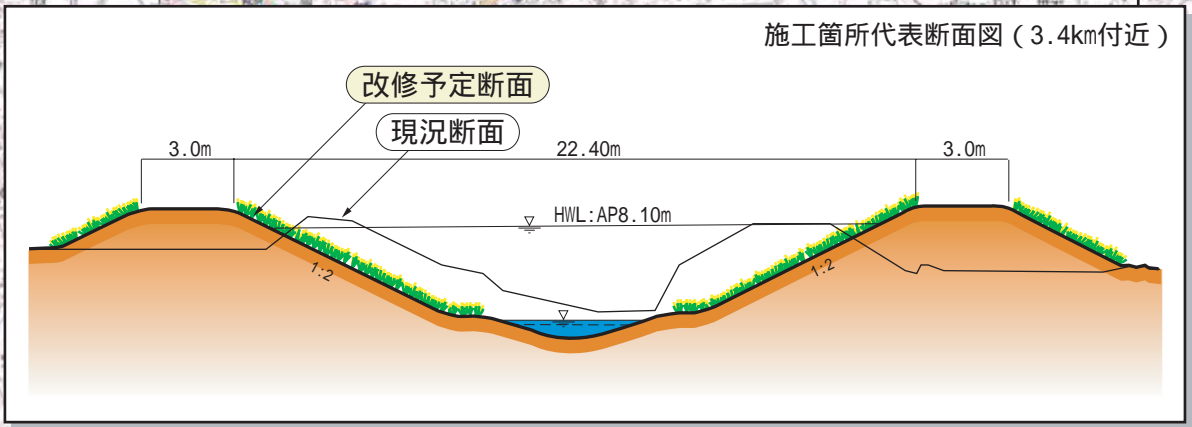
姫宮落川

調整池B

木橋下流 0.60km

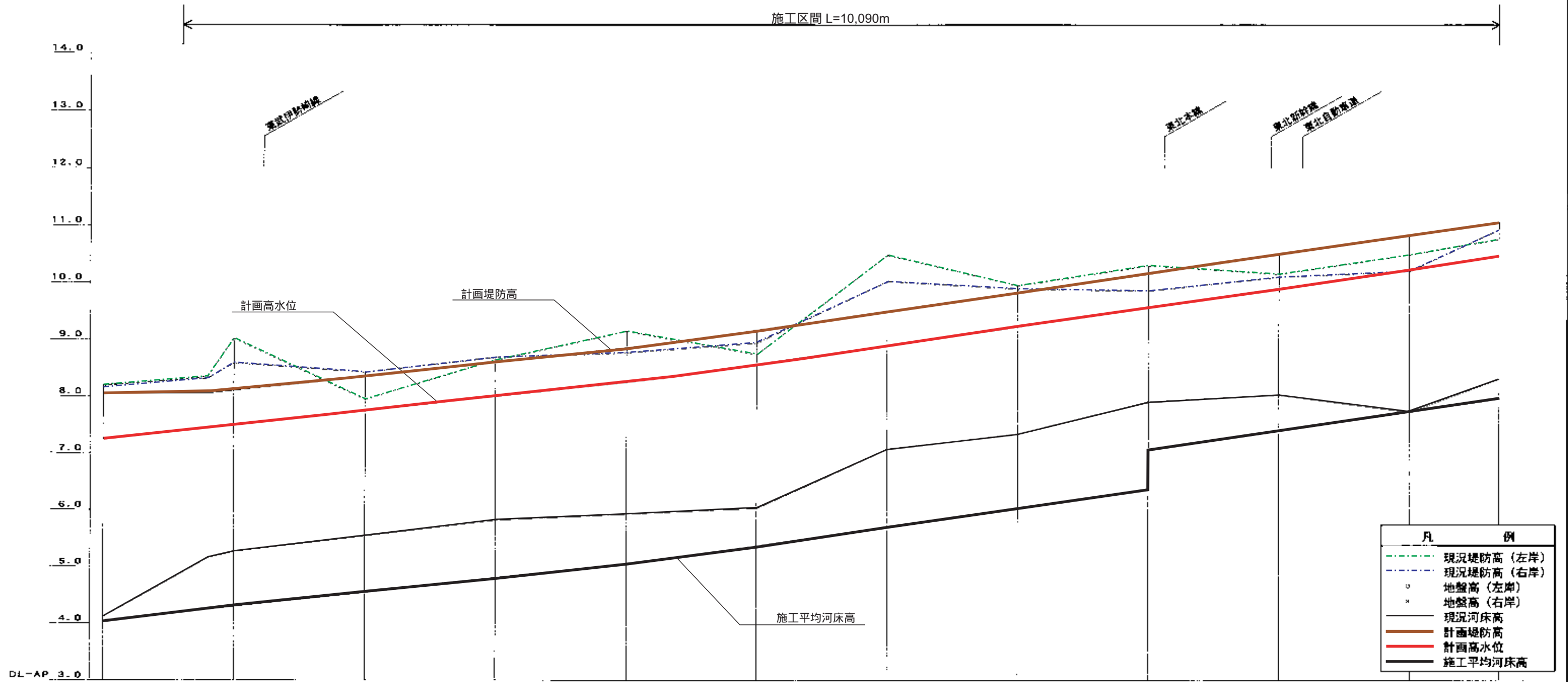
大落古利根川合流点

施工箇所代表断面図 (3.4km付近)



姫宮落川計画縦断面図

施工区間 L=10,090m

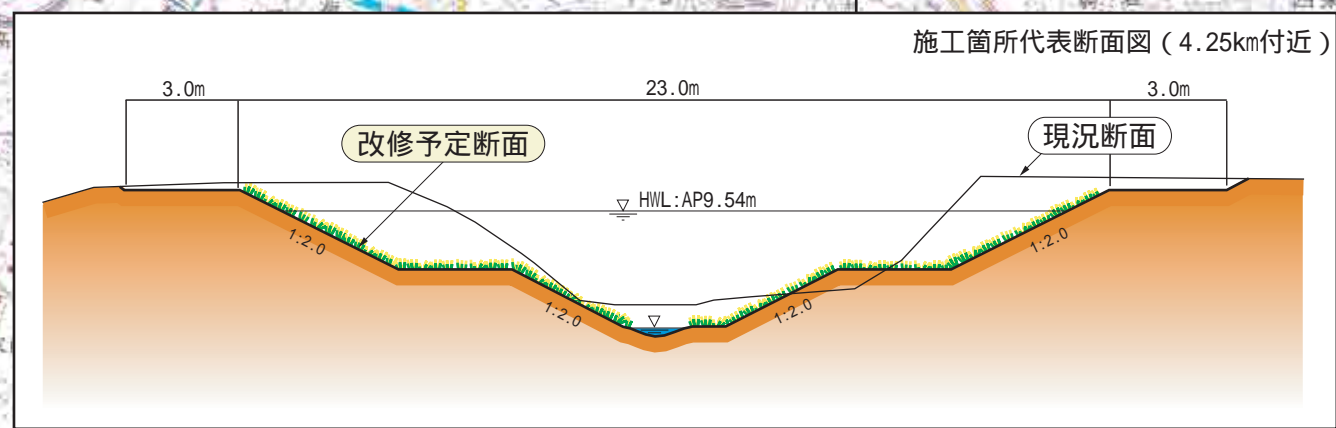
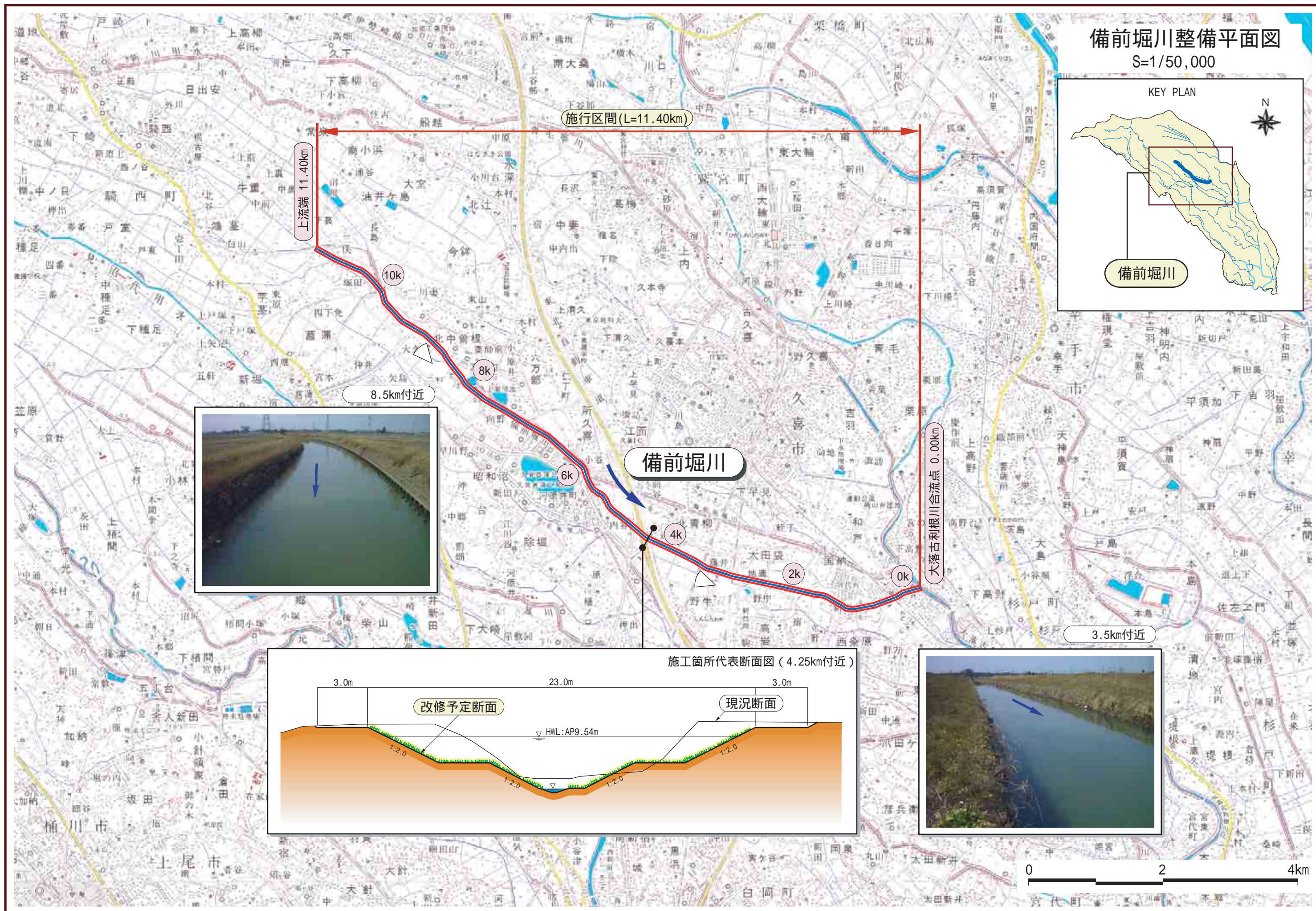
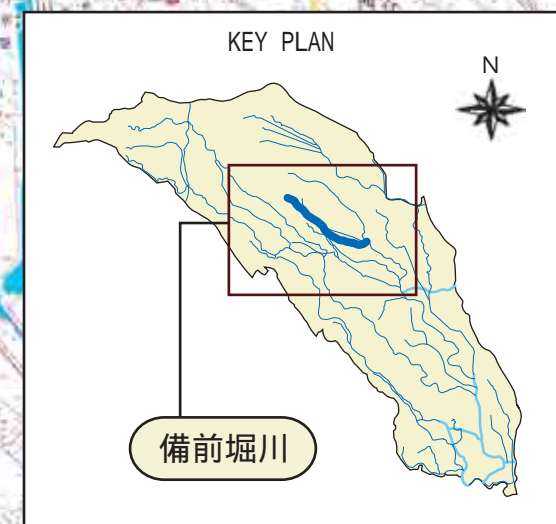


凡 例	
---○---	現況堤防高 (左岸)
---×---	現況堤防高 (右岸)
○	地盤高 (左岸)
×	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

追加 距離	計			
	施工平均 河床高	高水位	堤防高	河床勾配
0.000k	4.05	7.25	8.05	1/4,000
0.800k			8.05	
1.000k	4.30	7.50	8.10	1/4,000
2.000k	4.55	7.75	8.35	
3.000k	4.80	8.00	8.60	
4.000k	5.05	8.25	8.85	
4.300k	5.12	8.32	8.92	
5.000k	5.36	8.56	9.16	
6.000k	5.69	8.89	9.49	
7.000k	6.02	9.22	9.82	1/3,000
8.000k	6.36 (7.05)	9.56	10.16	
9.000k	7.39	9.89	10.49	
10.000k	7.72	10.22	10.82	
10.090k	7.95	10.45	11.05	

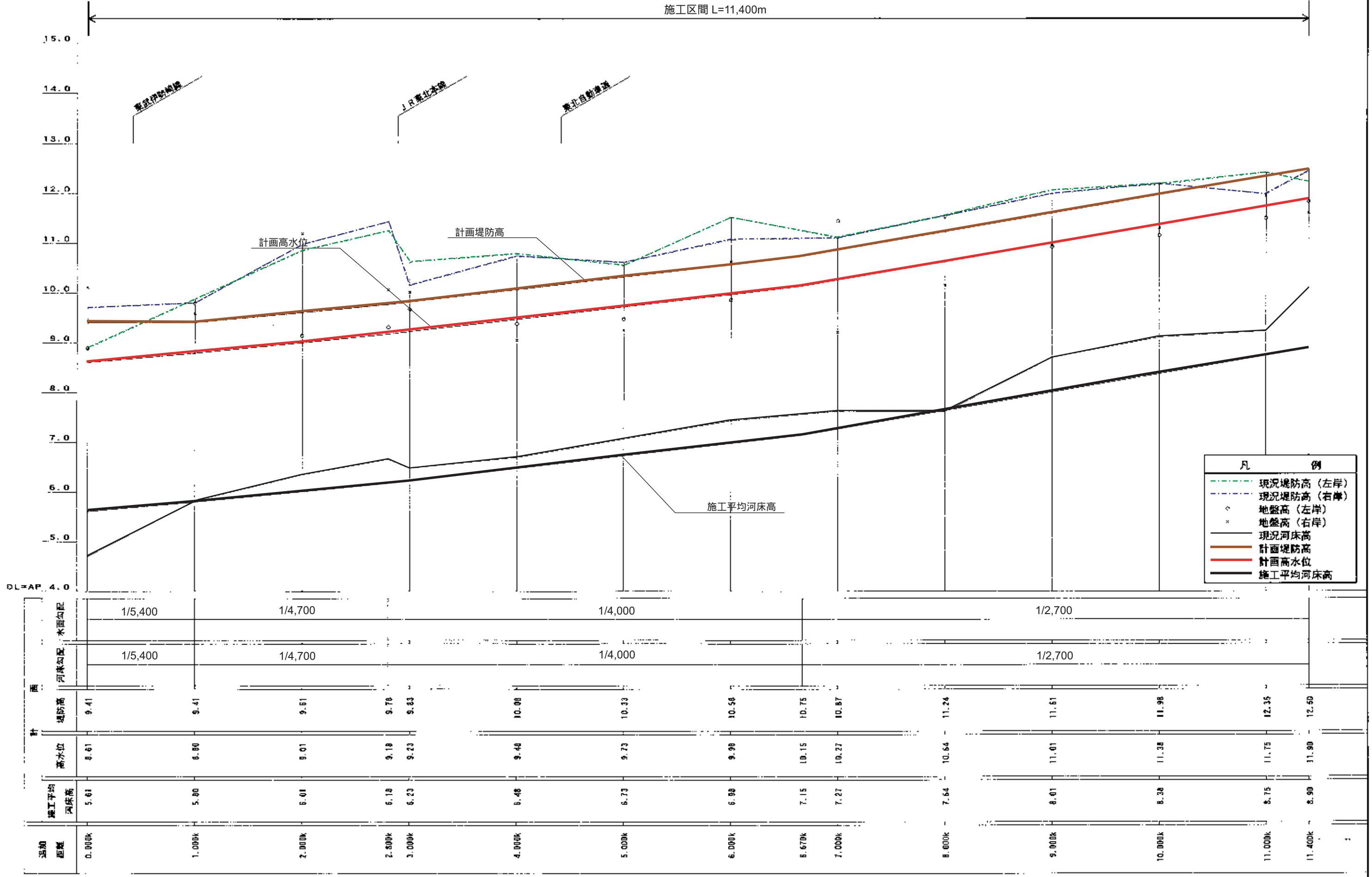
備前堀川整備平面図

S=1/50,000



備前堀川計画縦断面図

施工区間 L=11,400m



びぜんまえほりがわ

流域面積 14.50 km²
 流路延長 7.820 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 加須市、久喜市、宮代町

流域および河川の概要

- ・備前前堀川は、埼玉県加須市で五ヶ村落を合わせてその源を発し、途中磯沼落、仏供田落を合流し、大落古利根川2.5.0km 付近の右岸右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、東武伊勢崎線、JR 東北線、JR 東北新幹線及び東北自動車道が横断しており、久喜インターチェンジがあることから工業団地等の開発が発展しつつある。

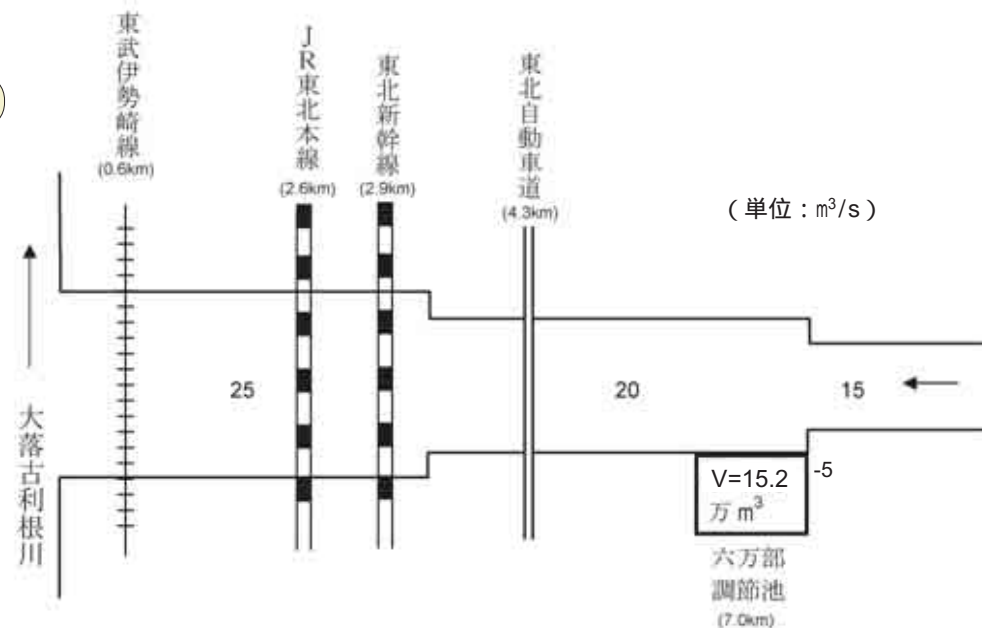
治水計画

- ・備前前堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河道を拡幅するとともに、河床の掘削及び築堤により河積の拡大を図る。
 < 整備予定区間 > (大落古利根川合流点0.00km) ~ (上流端7.82 km) A

整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・備前前堀川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているフジバカマ、ナガボノアカワレモコウ、サンショウモ、ミズワラビの生育がみられる地域や、ジャコウアゲハの生息がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



備前前堀川・整備計画概要



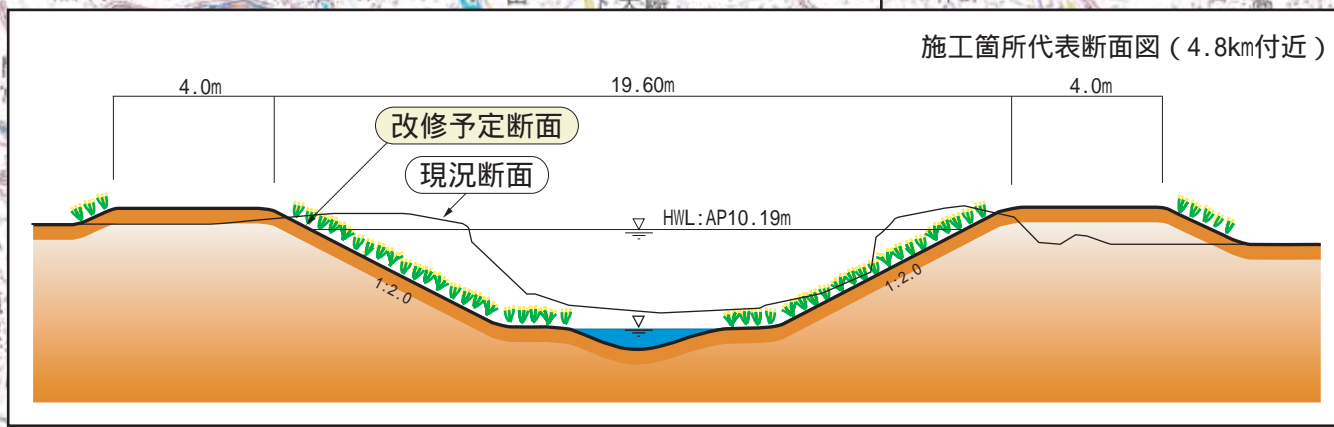
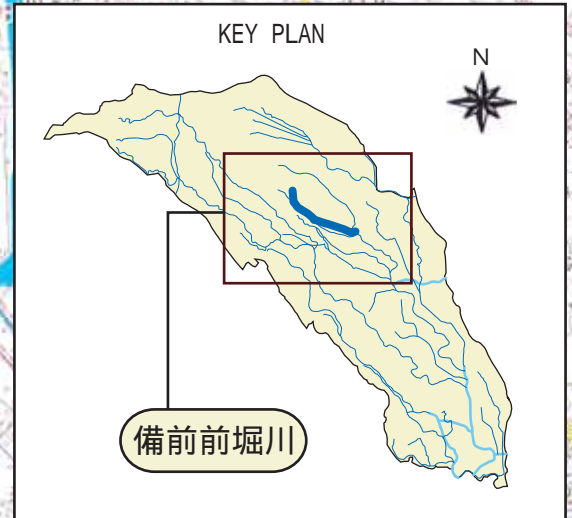
備前前堀川1.5km 付近



備前前堀川6.0km 付近

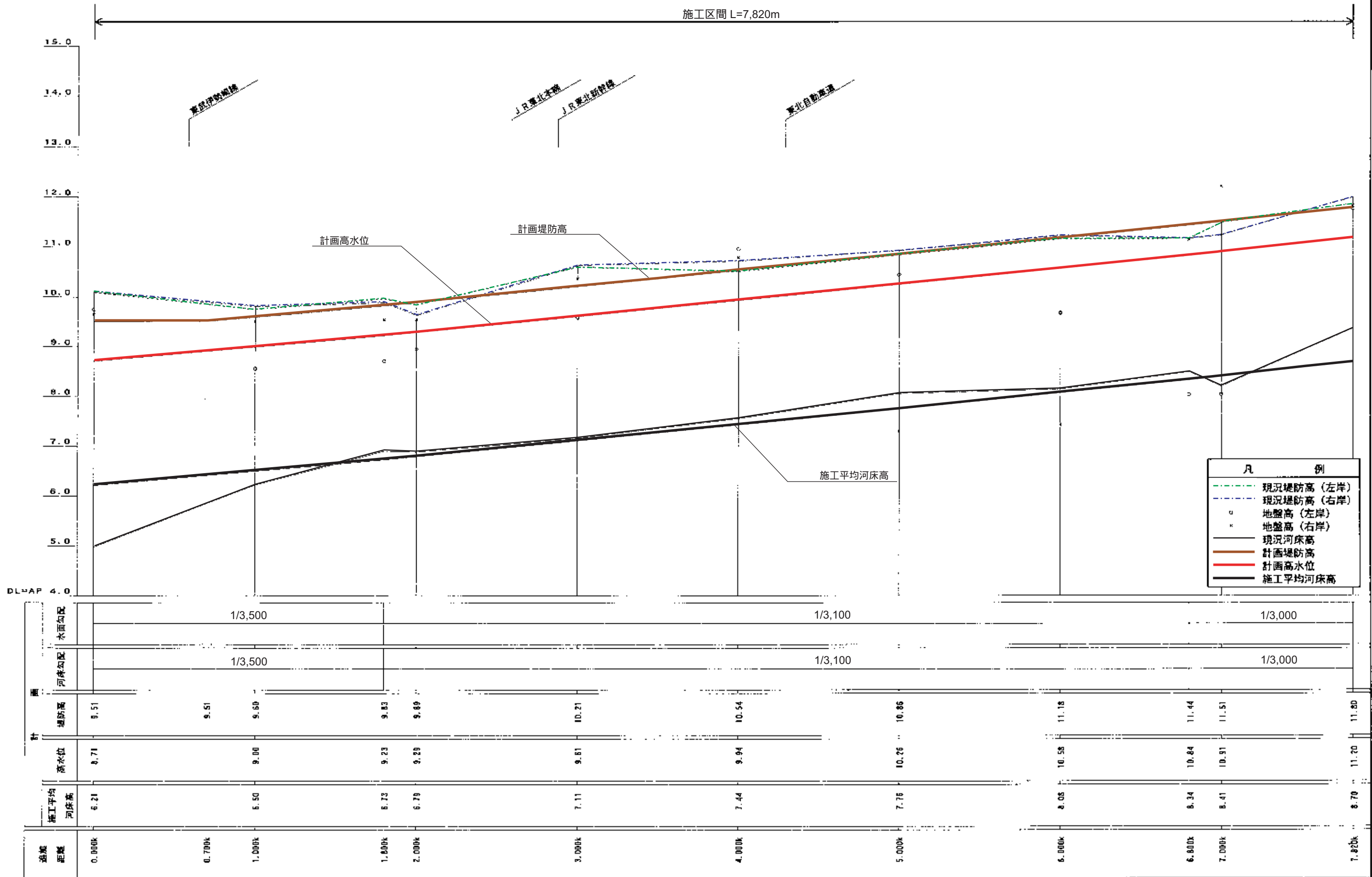


備前前堀川整備平面図
S=1/50,000



備前前堀川計画縦断図

施工区間 L=7,820m



あおげほりがわ

青毛堀川・整備計画概要

流域面積 34.54 km²
 流路延長 11.238 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 加須市、騎西町、久喜市、鷲宮町

流域および河川の概要

- ・青毛堀川は、埼玉県加須市にその源を發し、途中鷲宮江川を合流し、大落古利根川26.6 km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、約半分が水田として利用されており、これらは自然の遊水地として大きな役割を果たしていたが、近年急激に都市化が進み、開発による流域の土地利用形態の変化に伴い流出形態も大幅に変化し、現在のままではその排水に関する青毛堀川の氾濫による被害の増大が予想される。

治水計画

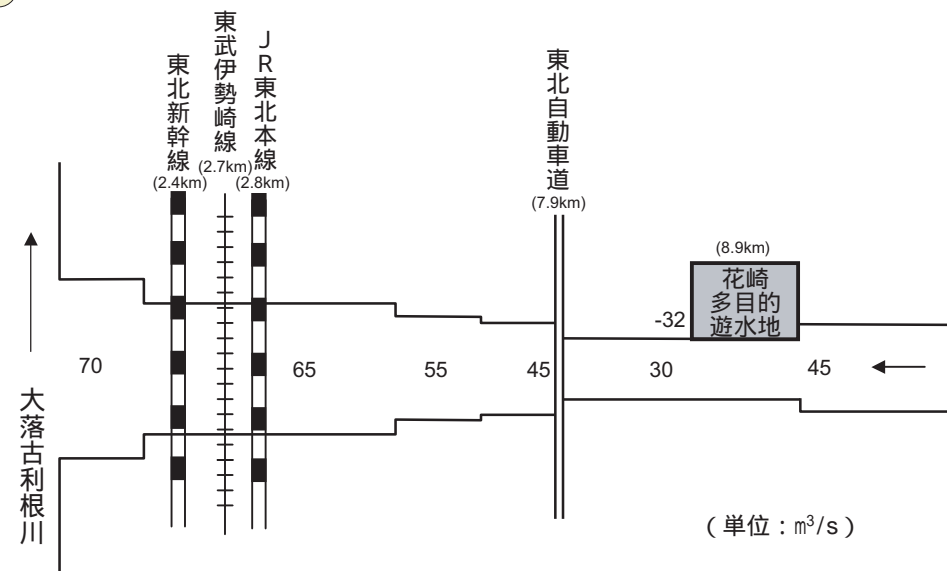
- ・青毛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (喜橋下流1.56 km) ~ (上流端11.24 km) A
- ・また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の治水施設を整備する。
 <整備予定施設> (花崎多目的遊水地) B



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・調節池の整備にあたっては、広大なオープンスペースを活かし、「加須はなさき公園」の整備とあわせて、自然環境の再生や人々に安全と潤いのある生活環境を提供するなど、さまざまな機能を持たせ活用する。

流量配分図

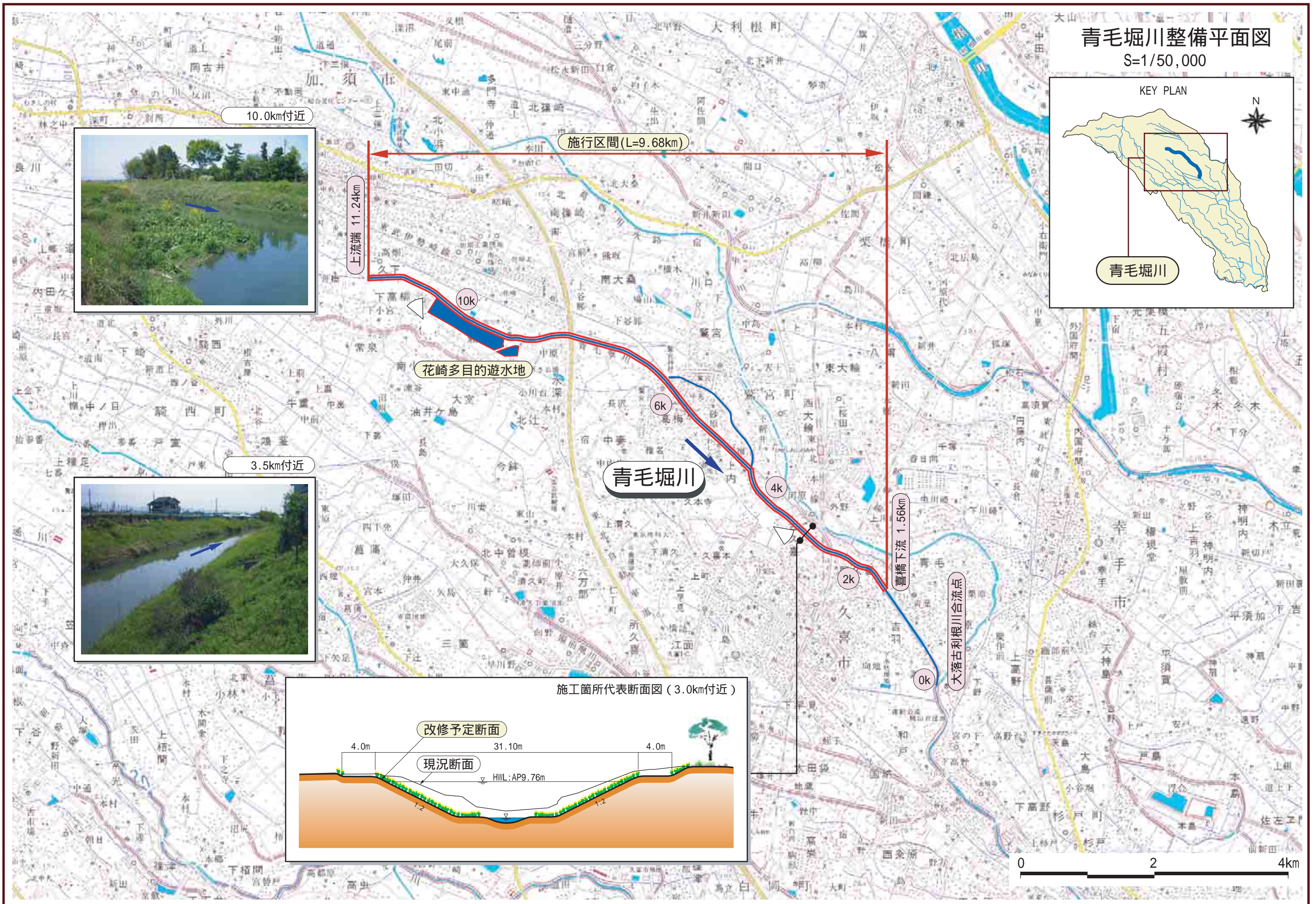


青毛堀川2.5km 付近

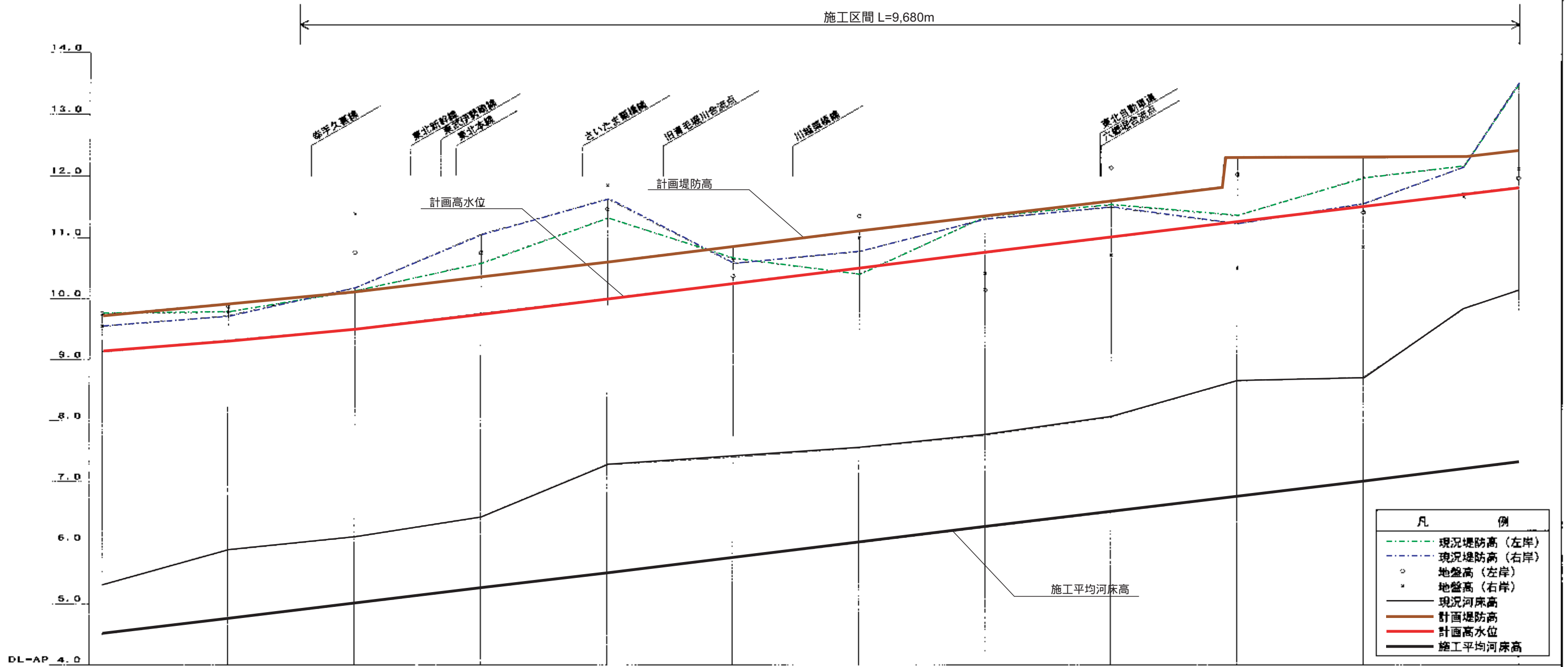


青毛堀川8.5km 付近



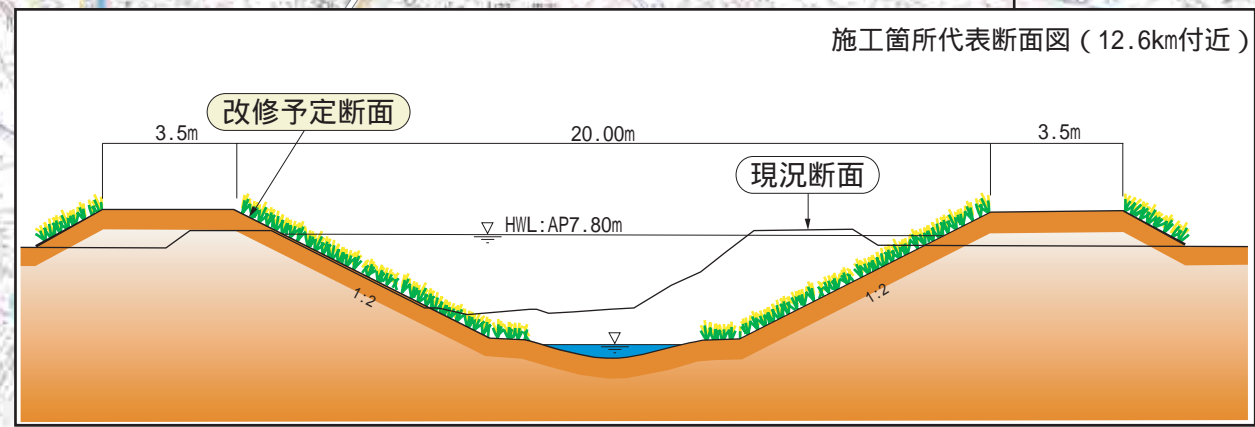
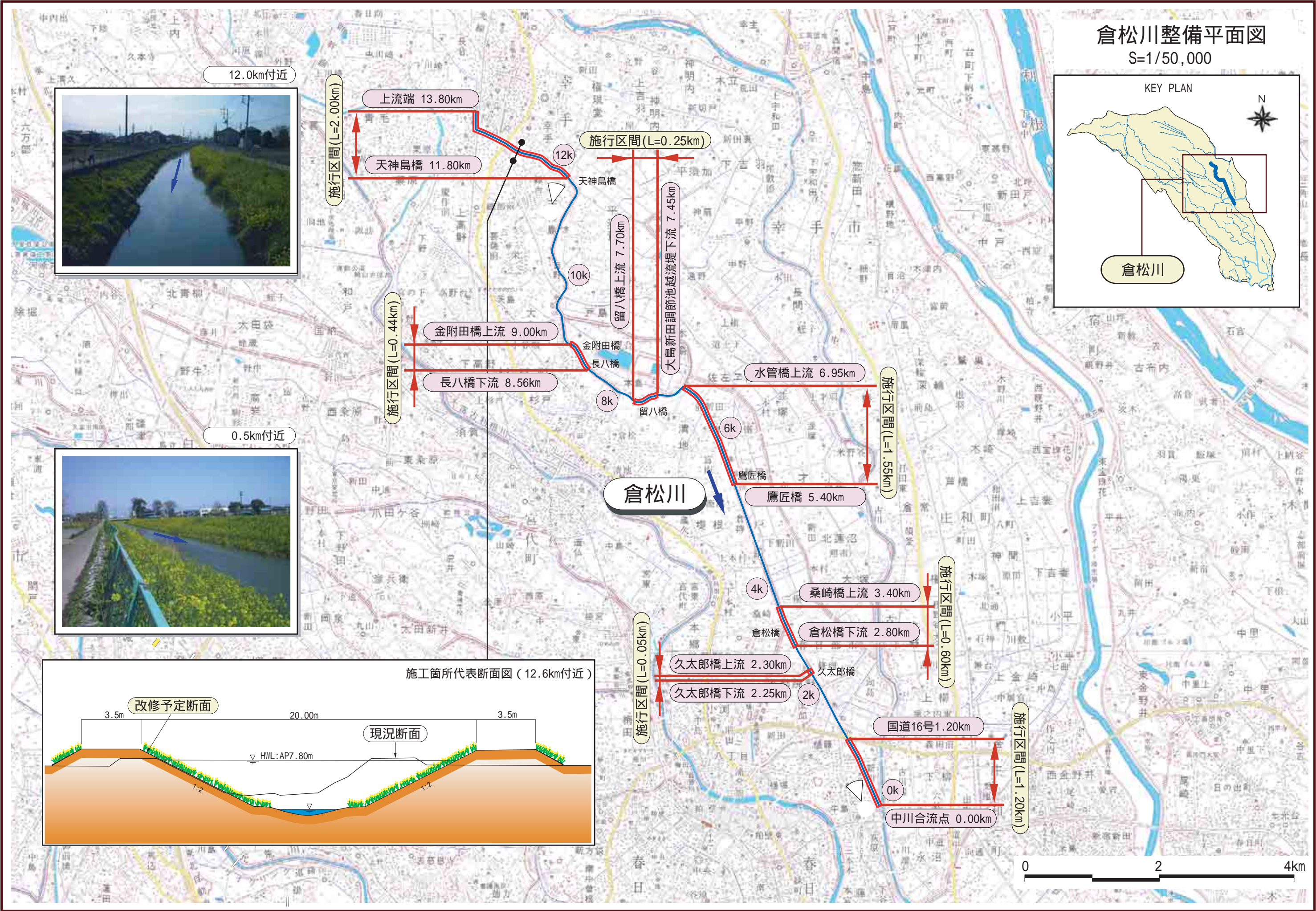
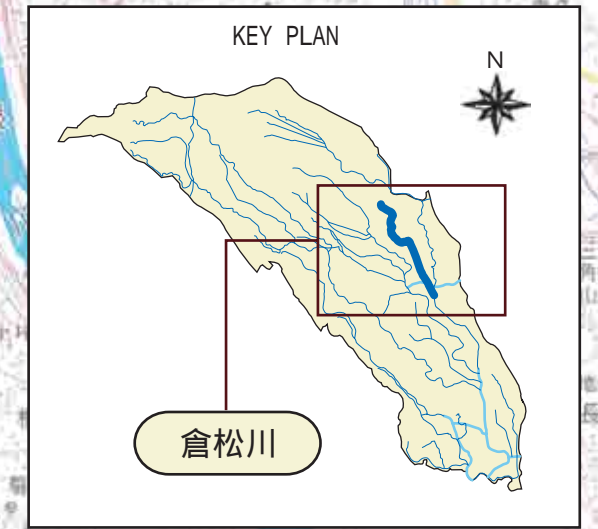


青毛堀川計画縦断面図

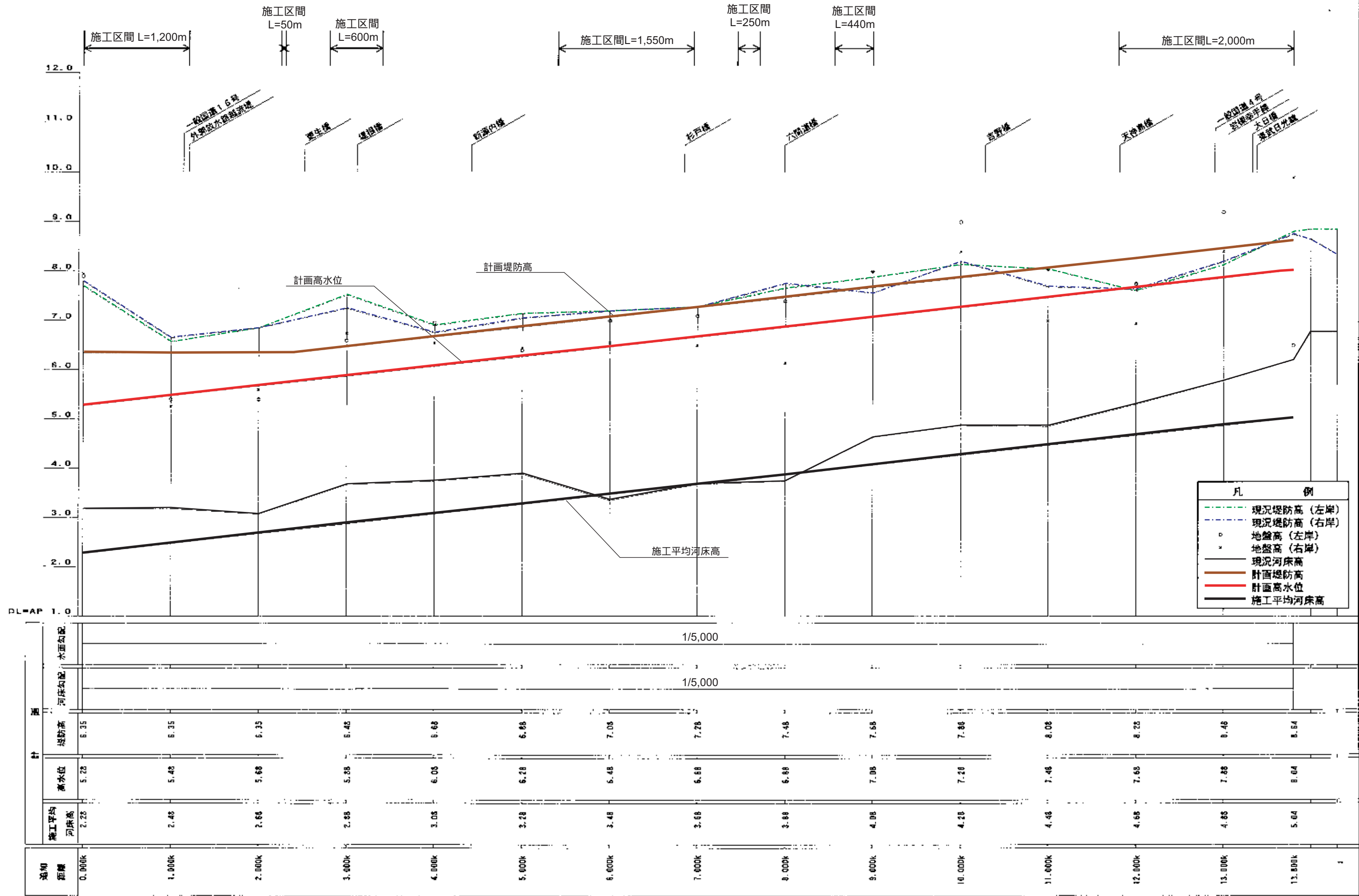


堤間距離	水面勾配		河床勾配		堤防高		高水位		施工平均河床高	
	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸
0.000k	1/5,400		1/4,000		9.73		9.13		4.51	
1.000k					9.92		9.32		4.76	
1.900k 2.000k					10.08 10.11		9.48 9.51		5.01	
3.000k					10.36		9.76		5.26	
4.000k					10.51		10.01		5.51	
5.000k					10.26		10.25		5.76	
6.000k					11.11		10.51		6.01	
7.000k					11.36		10.76		6.26	
8.000k					11.61		11.01		6.51	
8.988k 9.000k					12.87 12.31		11.26 11.26		6.76	
10.000k					12.31		11.51		7.01	
10.600k					12.31					
11.238k					12.42		11.82		7.32	

倉松川整備平面図 S=1/50,000



倉松川計画縦断図



うまのほりがわ

午の堀川・整備計画概要

流域面積 15.11 km²
 流路延長 7.400 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市、大利根町

流域および河川の概要

- ・午の堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.3 km 付近の右岸に流入する一級河川である。
- ・流域は、手子堀川と中川の支川である会の川に挟まれた、紡錘形状をしており、上・下流部の広さが1.0km、中流部が2km程度となっており、流域の大半が沖積低平地で占められている。流向は本川中川にほぼ平行して流れ、地勢は緩く東南に傾斜し、平均地勢勾配は約1/2,000程度である。
- ・流域は2市1町により構成され、流域の大半は低平地な水田として利用されている。

治水計画

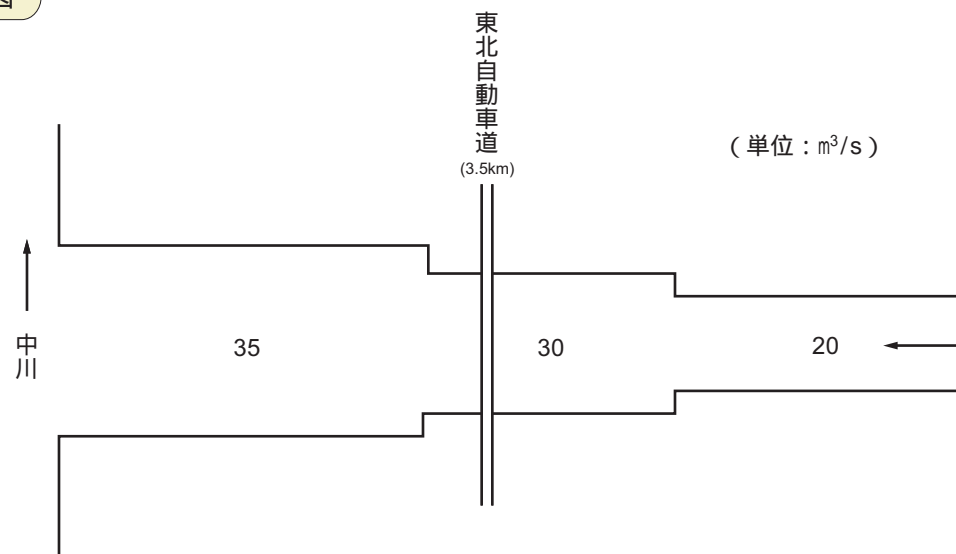
- ・午の堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端7.40 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

流量配分図



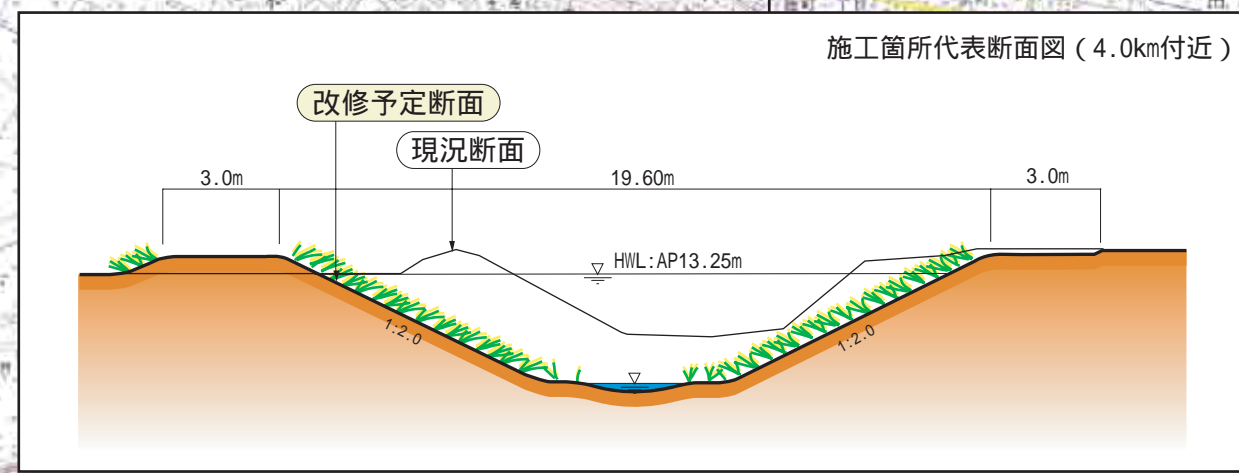
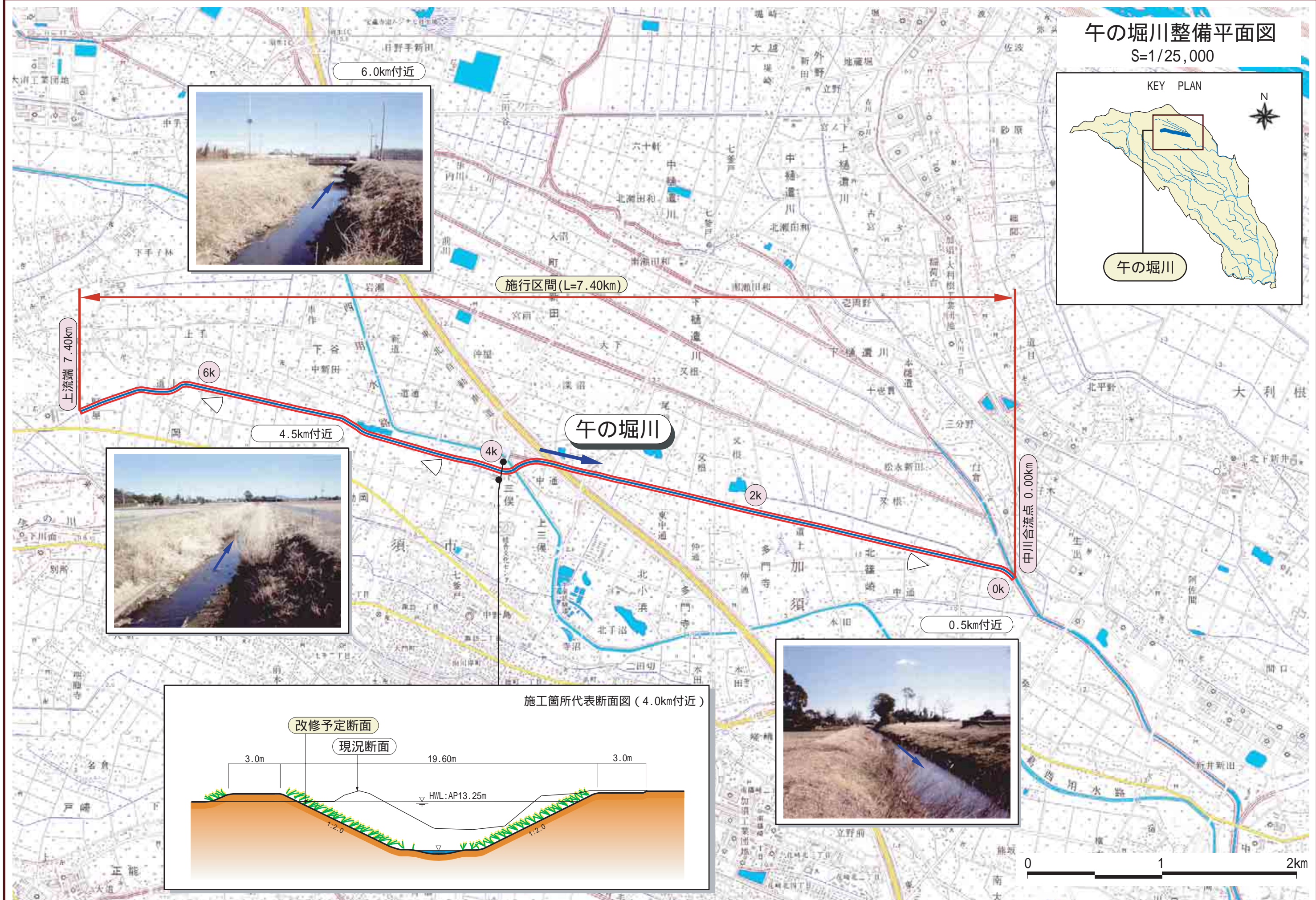
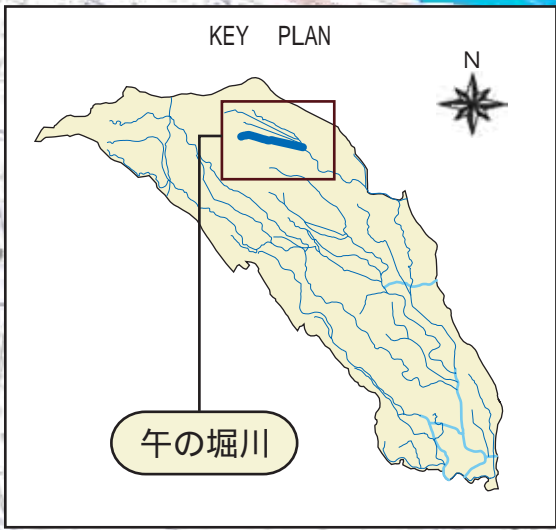
午の堀川1km 付近



午の堀川5km 付近

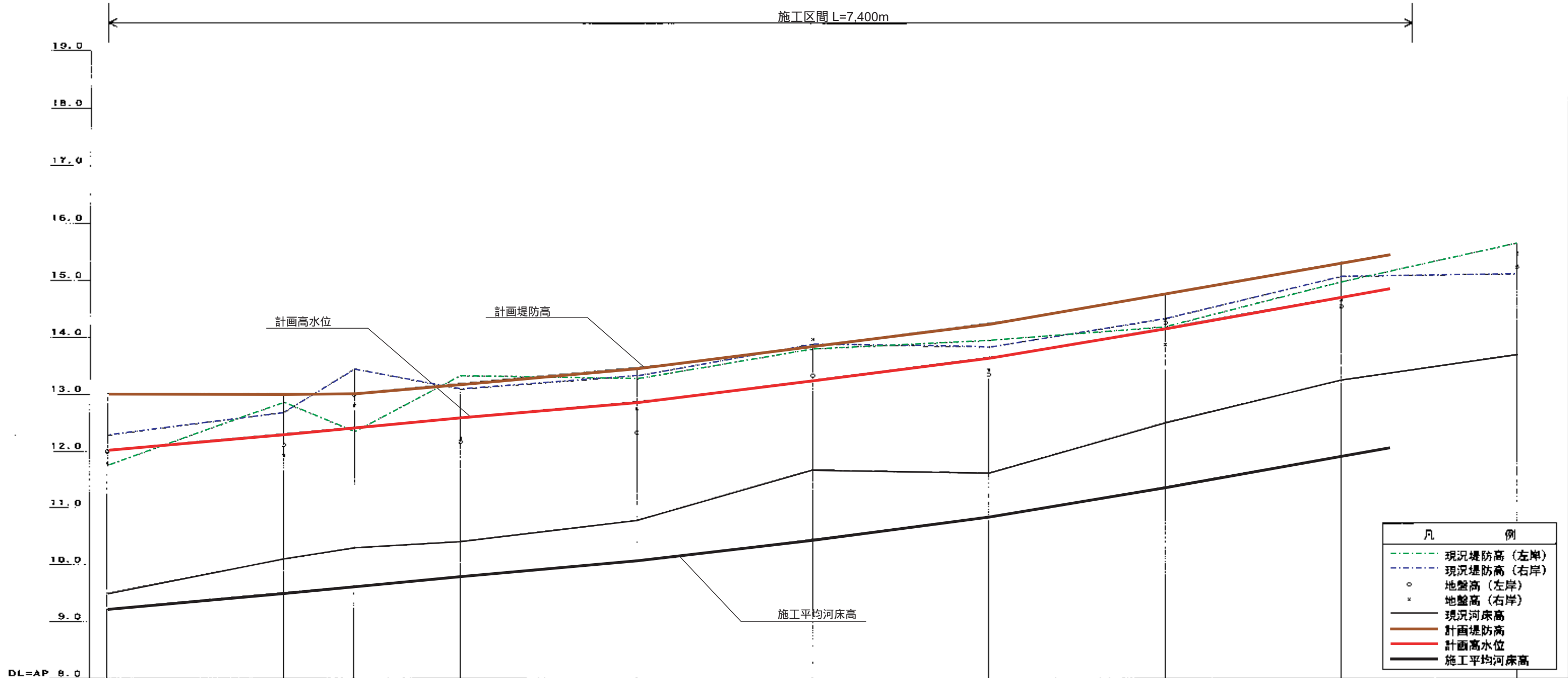


午の堀川整備平面図
S=1/25,000



午の堀川計画縦断面図

施工区間 L=7,400m



凡 例	
---○---	現況堤防高 (左岸)
---×---	現況堤防高 (右岸)
○	地盤高 (左岸)
×	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

計画	施工平均河床高	高水位	堤防高	河床勾配		水田勾配
				1/3,500	1/2,500	
0.000k	9.22	12.02	13.02			
1.000k	9.51	12.31	13.02			
1.400k	9.82	12.42	13.02			
2.000k	9.79	12.59	13.19			
3.000k	10.08	12.88	13.48			
3.237k	10.15	12.95	13.55			
4.000k	10.45	13.25	13.85			
5.000k	10.85	13.65	14.25			
5.150k	10.91	13.71	14.31			
6.000k	11.38	14.18	14.78			
7.000k	11.94	14.74	15.34			
7.273k	12.06	14.86	15.46			

てごほりがわ

手子堀川・整備計画概要

流域面積 6.61 km²
 流路延長 6.400 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- ・手子堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.9 km付近の右岸に流入する一級河川である。
- ・流域は中川と午の堀川に挟まれた細長い形状をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

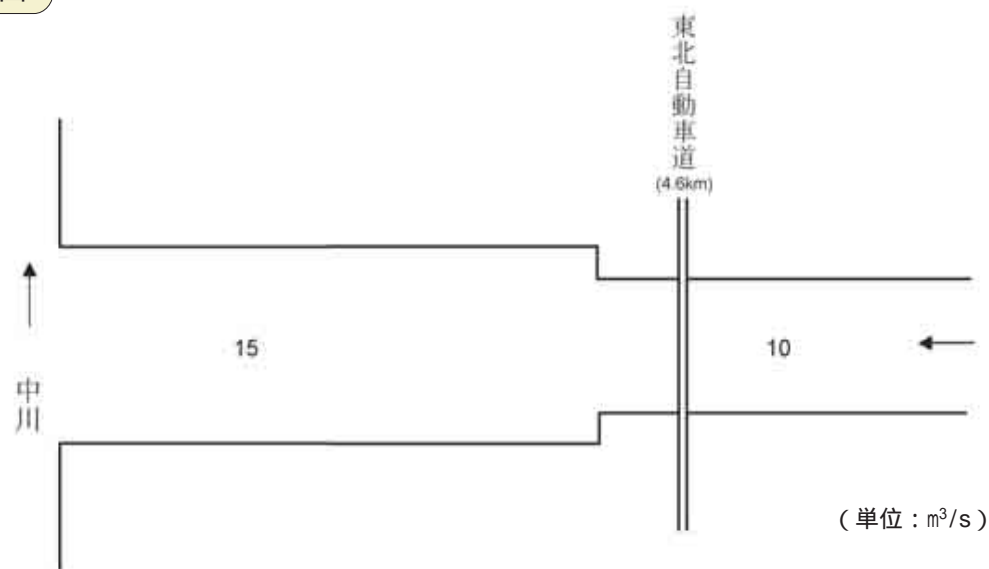
- ・手子堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端6.40 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努めるほか、人々が自然とふれあい、環境と共生できる良好な水辺空間の確保に努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。

流量配分図



手子堀川2km 付近

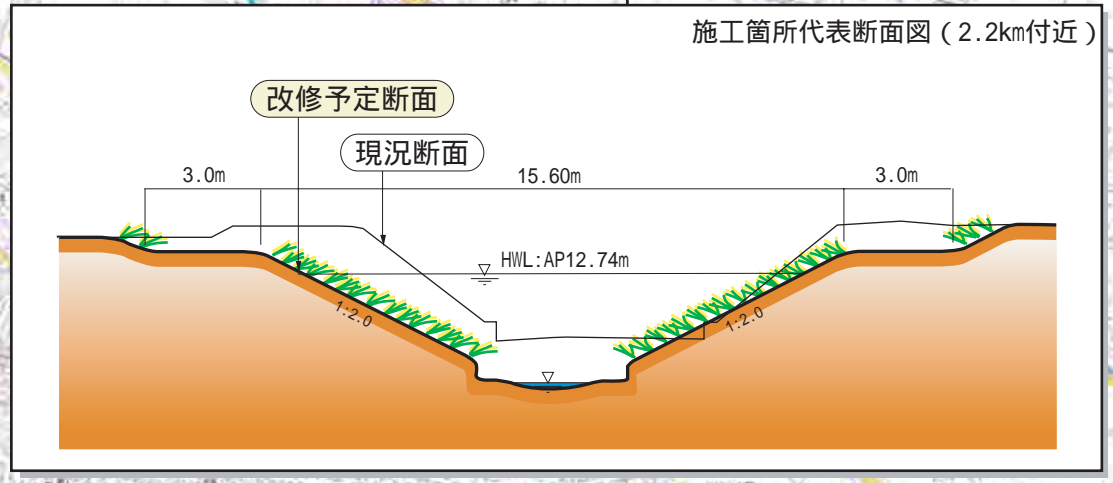


手子堀川4km 付近



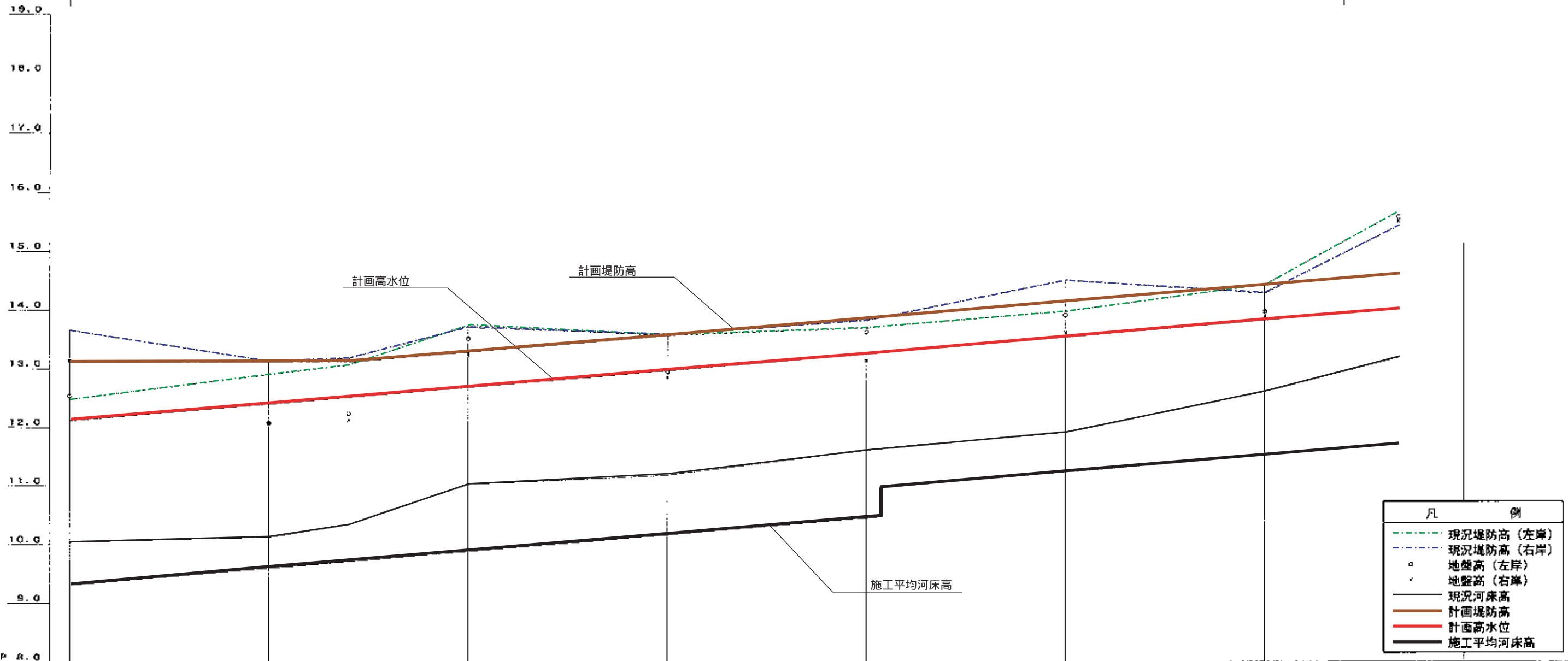
手子堀川整備平面図

S=1/25,000



手子堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,400m



DL=AP 8.0

通知距離	計画		凡例	
	高水位	堤防高	現況堤防高 (左岸)	現況堤防高 (右岸)
0.000k	12.12	13.12		
1.000k	12.40	13.12		
1.400k		13.12		
2.000k	12.69	13.29		
3.000k	12.97	13.57		
4.000k	13.26	13.86		
4.066k	13.28	13.88		
5.000k	13.55	14.15		
6.000k	13.83	14.43		
6.673k	14.02	14.62		
7.000k	14.12	14.72		

通知距離	施工平均河床高	水面勾配	河床勾配
0.000k	9.32		
1.000k	9.60	1/3,500	1/3,500
1.400k			
2.000k	9.89		
3.000k	10.17		
4.000k	10.45		
4.066k	10.48 (10.98)		
5.000k	11.25		
6.000k	11.53		
6.673k	11.72		
7.000k	11.82		

しんさいかちほりがわ

新槐堀川・整備計画概要

流域面積 24.30 km²
 流路延長 6.300 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- ・新槐堀川は、埼玉県羽生市にその源を發し、途中旧槐堀川を合流し、中川71.5km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は利根川と本川に挟まれた長方形をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

- ・新槐堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端6.30 km) A

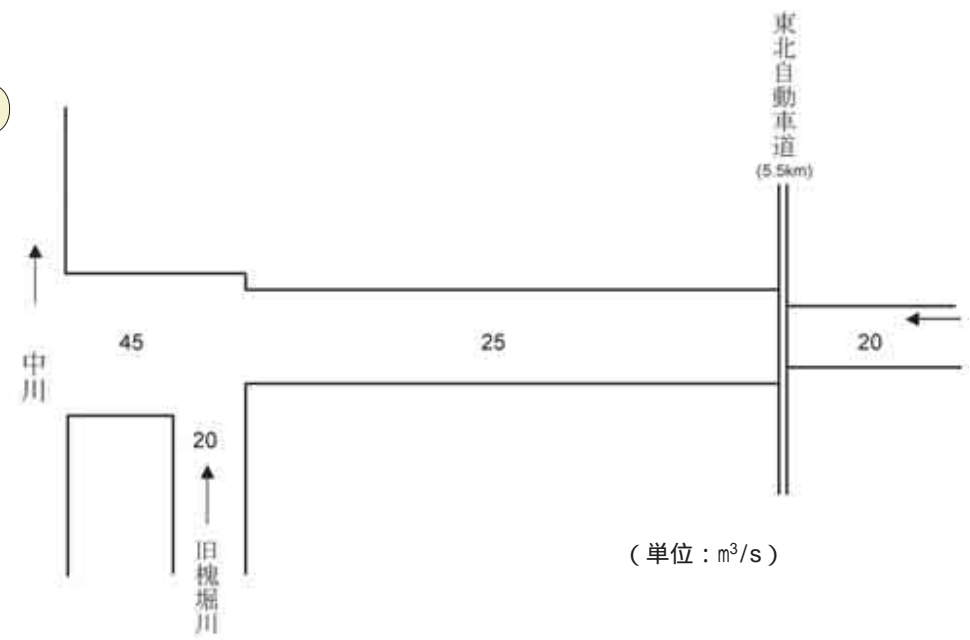


整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。



流量配分図



新槐堀川1km 付近

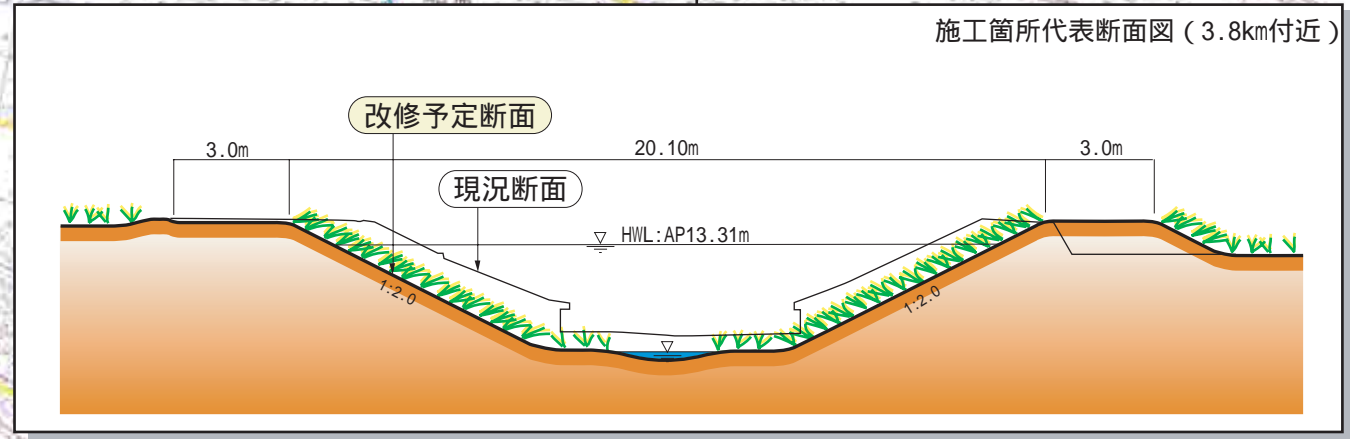
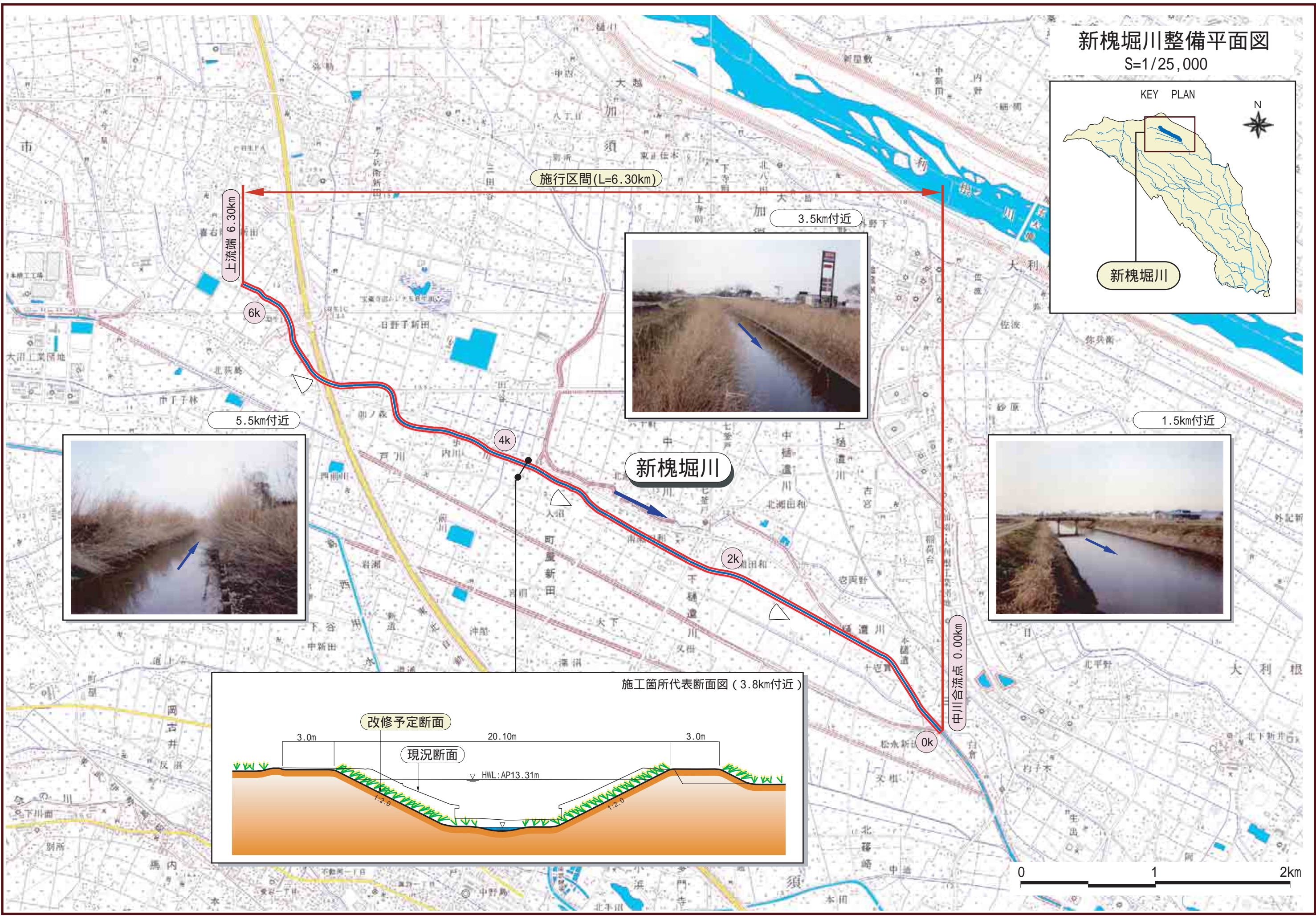
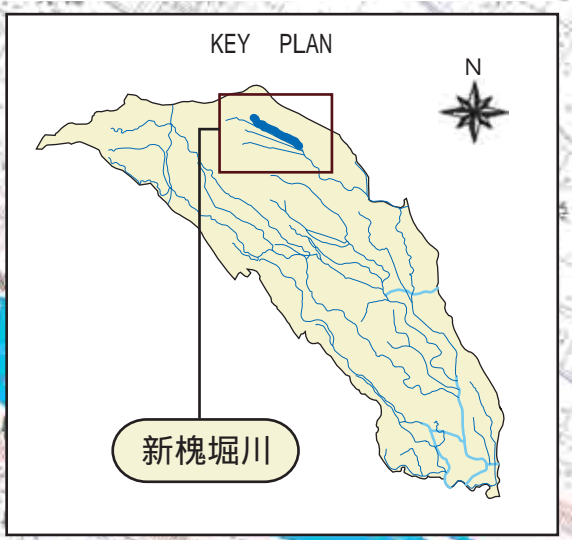


新槐堀川4km 付近



新槐堀川整備平面図

S=1/25,000



新槐堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,300m

